

別表第2

(1)~(12) [略]

13) 太陽電池発電所の設置又は変更の事業に係る参考手法

参考項目		参考手法	
環境要素の区分	影響要因の区分	調査の手法	予測の手法
粉じん等	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び 現地調査による情報の収 集並びに当該情報の整理 及び解析</p> <p>3 調査地域 粉じん等の拡散の特性 を踏まえて粉じん等に係 る環境影響を受けるおそ れがあると認められる地 域</p> <p>4 調査地点 粉じん等の拡散の特性 を踏まえて調査地域にお ける粉じん等に係る環境 影響を予測し、及び評価 するために必要な情報を 適切かつ効果的に把握で きる地点</p> <p>5 調査期間等 粉じん等の拡散の特性 を踏まえて調査地域にお ける粉じん等に係る環境 影響を予測し、及び評価 するために必要な情報を 適切かつ効果的に把握で きる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な手法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、粉じ ん等の拡散の特性を踏ま えて粉じん等に係る環境 影響を受けるおそれがあ ると認められる地域</p> <p>3 予測地点 粉じん等の拡散の特性 を踏まえて予測地域にお ける粉じん等に係る環境 影響を的確に把握できる 地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による 粉じん等に係る環境影響 が最大となる時期</p>
	工事中資材等の搬出入	<p>1 調査すべき情報 気象の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p>	<p>1 予測の基本的な手法 事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p>

		<p><u>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</u></p> <p>3 <u>調査地域</u> <u>粉じん等の拡散の特性を踏まえて粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</u></p> <p>4 <u>調査地点</u> <u>粉じん等の拡散の特性を踏まえて調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</u></p> <p>5 <u>調査期間等</u> <u>粉じん等の拡散の特性を踏まえて調査地域における粉じん等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</u></p>	<p><u>調査地域のうち、粉じん等の拡散の特性を踏まえて粉じん等に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</u></p> <p>3 <u>予測地点</u> <u>粉じん等の拡散の特性を踏まえて予測地域における粉じん等に係る環境影響を的確に把握できる地点</u></p> <p>4 <u>予測対象時期等</u> <u>工事中資材等の搬出入に用いる自動車の運行による粉じん等に係る環境影響が最大となる時期</u></p>
騒音	建設機械の稼働	<p>1 <u>調査すべき情報</u> (1) <u>騒音の状況</u> (2) <u>地表面の状況</u></p> <p>2 <u>調査の基本的な手法</u> <u>文献その他の資料及び現地調査による情報（騒音の状況については、騒音規制法第15条第1項の規定により定められた特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に規定する騒音の測</u></p>	<p>1 <u>予測の基本的な手法</u> <u>音の伝搬理論に基づく計算</u></p> <p>2 <u>予測地域</u> <u>調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえて騒音に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</u></p> <p>3 <u>予測地点</u> <u>音の伝搬の特性を踏ま</u></p>

	<p>定の方法を用いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえて騒音に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえて調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえて調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>えて予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 建設機械の稼働による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
<p>工事中資材等の搬出入</p>	<p>1 調査すべき情報 (1) 道路交通騒音の状況 (2) 沿道の状況 (3) 道路構造及び当該道路における交通量に係る状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報(道路交通騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する道路交通騒音についての測定の方法、測定場所及び測定時</p>	<p>1 予測の基本的な手法 音の伝搬理論に基づく計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえて騒音に係る環境影響を受けると認められる地域</p> <p>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえて予測地域における騒音に係る環境影響を的確</p>

	<p>刻を用いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 音の伝搬の特性を踏まえて騒音に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>4 調査地点 音の伝搬の特性を踏まえて調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 音の伝搬の特性を踏まえて調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等 工사용資材等の搬出入に用いる自動車の運行による騒音に係る環境影響が最大となる時期</p>
<p>施設の稼働</p>	<p>1 調査すべき情報 (1) 騒音の状況 (2) 地表面の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報(騒音の状況については、騒音に係る環境基準に規定する騒音についての測定の方法、測定場所及び測定時刻を用いられたものとする。)の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p>	<p>1 予測の基本的な手法 音の伝搬理論に基づく計算</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、音の伝搬の特性を踏まえて騒音に係る環境影響を受けると認められる地域</p> <p>3 予測地点 音の伝搬の特性を踏まえて予測地域における騒音に係る環境影響を的確に把握できる地点</p>

		<p>音の伝搬の特性を踏まえて騒音に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえて調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>音の伝搬の特性を踏まえて調査地域における騒音に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>4 予測対象時期等</p> <p>発電所の運転が定常状態となる時期及び騒音に係る環境影響が最大になる時期（最大になる時期を設定することができる場合に限る。）</p>
振動	建設機械の稼働	<p>1 調査すべき情報</p> <p>地盤の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえて振動に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえて調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ</p>	<p>1 予測の基本的な手法</p> <p>事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえて振動に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえて予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>建設機械の稼働による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>

		<p>効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえて調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	
工所用資材等の搬出入	<p>1 調査すべき情報</p> <p>交通量に係る状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>工所用資材等の搬出入に使用する自動車が行う予定の路線及びその周辺区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえて調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえて調査地域における振動に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>1 予測の基本的な手法</p> <p>事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、振動の伝搬の特性を踏まえて振動に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>振動の伝搬の特性を踏まえて予測地域における振動に係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>工所用資材等の搬出入に用いる自動車の運行による振動に係る環境影響が最大となる時期</p>	
水の濁り	造成等の施工による一時的	1 調査すべき情報	1 予測の基本的な手法

<p>な影響</p>	<p>浮遊物質量の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報（浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>浮遊物質量の拡散の特性を踏まえて水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>4 調査地点</p> <p>浮遊物質量の拡散の特性を踏まえて調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>浮遊物質量の拡散の特性を踏まえて調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、浮遊物質量の拡散の特性を踏まえて水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>3 予測地点</p> <p>浮遊物質量の拡散の特性を踏まえて予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 予測対象時期等</p> <p>造成等の施工による水の濁りに係る環境影響が最大となる時期</p>
<p>地形改変及び施設の有無</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>浮遊物質量の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び</p>	<p>1 予測の基本的な手法</p> <p>事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、浮遊</p>

		<p><u>現地調査による情報（浮遊物質量の状況については、水質汚濁に係る環境基準に規定する浮遊物質量の測定の方法を用いられたものとする。）の収集並びに当該情報の整理及び解析</u></p> <p>3 <u>調査地域</u> 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえて水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>4 <u>調査地点</u> 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえて調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 <u>調査期間等</u> 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえて調査地域における水の濁りに係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>物質量の拡散の特性を踏まえて水の濁りに係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>3 <u>予測地点</u> 浮遊物質量の拡散の特性を踏まえて予測地域における水の濁りに係る環境影響を的確に把握できる地点</p> <p>4 <u>予測対象時期等</u> 発電所の運転が定常状態となる時期及び水の濁りに係る環境影響が最大になる時期（最大になる時期を設定することができる場合に限る。）</p>
<p><u>重要な地形及び地質</u></p>	<p><u>地形改変及び施設の存在</u></p>	<p>1 <u>調査すべき情報</u> (1) <u>地形及び地質の状況</u> (2) <u>重要な地形及び地質の分布、状態及び特性</u></p> <p>2 <u>調査の基本的な手法</u> 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理</p>	<p>1 <u>予測の基本的な手法</u> 重要な地形及び地質について、<u>分布又は成立環境の改変の程度を把握した上で、事例の引用又は解析</u></p> <p>2 <u>予測地域</u> 調査地域のうち、地形</p>

		<p>及び解析</p> <p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺区域</p> <p>4 調査地点 地形及び地質の特性を踏まえて調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 地形及び地質の特性を踏まえて調査地域における重要な地形及び地質に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</p>	<p>及び地質の特性を踏まえて重要な地形及び地質に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>3 予測対象時期等 地形及び地質の特性を踏まえて重要な地形及び地質に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
土地の安定性	地形改変及び施設の存在	<p>1 調査すべき情報 土地の安定性の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集及び当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺区域</p> <p>4 調査地点 土地の特性を踏まえて調査地域における土地の安定性に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切か</p>	<p>1 予測の基本的な手法 土地の安定性について、表層土壌又は地質の改変の程度を把握した上で、斜面安定解析等の土質工学的手法</p> <p>2 予測地域 土地の特性を踏まえて土地の安定性に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>3 予測対象時期等 土地の特性を踏まえて土地の安定性に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>

		<p><u>つ効果的に把握できる地点</u></p> <p>5 <u>調査期間等</u></p> <p><u>土地の特性を踏まえて調査地域における土地の安定性に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる時期</u></p>	
反射光	地形改変及び施設の存在	<p>1 <u>調査すべき情報</u></p> <p>(1) <u>土地利用の状況</u></p> <p>(2) <u>地形の状況</u></p> <p>2 <u>調査の基本的な手法</u></p> <p><u>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</u></p> <p>3 <u>調査地域</u></p> <p><u>反射光の特性を踏まえて反射光に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</u></p> <p>4 <u>調査地点</u></p> <p><u>反射光の特性を踏まえて調査地域における反射光に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</u></p> <p>5 <u>調査期間等</u></p> <p><u>反射光の特性を踏まえて調査地域における反射光に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、</u></p>	<p>1 <u>予測の基本的な手法</u></p> <p><u>事例の引用又は解析</u></p> <p>2 <u>予測地域</u></p> <p><u>調査地域のうち、反射光の特性を踏まえて反射光に係る環境影響を受けおそれがあると認められる地域</u></p> <p>3 <u>予測対象時期等</u></p> <p><u>反射光の特性を踏まえて反射光に係る環境影響を的確に把握できる時期</u></p>

		時期及び時間帯	
重要な種及び注目すべき生息地	造成等の施工による一時的な影響 地形改変及び施設が存在	<p>1 調査すべき情報</p> <p>(1) 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類その他の主な動物に関する動物相の状況</p> <p>(2) 重要な種及び注目すべき生息地の分布、生息の状況及び生息環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象事業実施区域及びその周辺区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>動物の生息の特性を踏まえて調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</p> <p>5 調査期間等</p> <p>動物の生息の特性を踏まえて調査地域における重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>1 予測の基本的な手法</p> <p>重要な種及び注目すべき生息地について、分布又は生息環境の改変の程度を把握した上で、事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、動物の生息の特性を踏まえて重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>動物の生息の特性を踏まえて重要な種及び注目すべき生息地に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
重要な種及び重要な群落	造成等の施工による一時的な影響	<p>1 調査すべき情報</p> <p>(1) 種子植物その他の主</p>	<p>1 予測の基本的な手法</p> <p>重要な種及び重要な群</p>

	<p><u>地形改変及び施設の存在</u></p>	<p><u>な植物に関する植物相及び植生の状況</u></p> <p><u>(2) 重要な種及び重要な群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況</u></p> <p><u>2 調査の基本的な手法</u> <u>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</u></p> <p><u>3 調査地域</u> <u>対象事業実施区域及びその周辺区域</u></p> <p><u>4 調査地点</u> <u>植物の生育及び植生の特性を踏まえて調査地域における重要な種及び重要な群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</u></p> <p><u>5 調査期間等</u> <u>植物の生育及び植生の特性を踏まえて調査地域における重要な種及び重要な群落に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</u></p>	<p><u>落について、分布又は生育環境の改変の程度を把握した上で、事例の引用又は解析</u></p> <p><u>2 予測地域</u> <u>調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえて重要な種及び重要な群落に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</u></p> <p><u>3 予測対象時期等</u> <u>植物の生育及び植生の特性を踏まえて重要な種及び重要な群落に係る環境影響を的確に把握できる時期</u></p>
<p><u>地域を特徴づける生態系</u></p>	<p><u>造成等の施工による一時的な影響</u></p> <p><u>地形改変及び施設の存在並びに施設の稼働</u></p>	<p><u>1 調査すべき情報</u></p> <p><u>(1) 動植物その他の自然環境に係る概況</u></p> <p><u>(2) 複数の注目種等の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況</u></p>	<p><u>1 予測の基本的な手法</u> <u>注目種等について、分布、生息又は生育環境の改変の程度を把握した上で、事例の引用又は解析</u></p> <p><u>2 予測地域</u></p>

		<p>2 調査の基本的な方法 <u>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</u></p> <p>3 調査地域 <u>対象事業実施区域及びその周辺区域</u></p> <p>4 調査地点 <u>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえて調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点又は経路</u></p> <p>5 調査期間等 <u>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえて調査地域における注目種等に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</u></p>	<p><u>調査地域のうち、動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえて注目種等に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</u></p> <p>3 予測対象時期等 <u>動植物その他の自然環境の特性及び注目種等の特性を踏まえて注目種等に係る環境影響を的確に把握できる時期</u></p>
<p><u>主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観</u></p>	<p><u>地形改変及び施設の存在</u></p>	<p>1 調査すべき情報 (1) <u>主要な眺望点</u> (2) <u>景観資源の状況</u> (3) <u>主要な眺望景観の状況</u></p> <p>2 調査の基本的な方法 <u>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</u></p>	<p>1 予測の基本的な手法 (1) <u>主要な眺望点及び景観資源について、分布の改変の程度を把握した上で、事例の引用又は解析</u> (2) <u>主要な眺望景観について、完成予想図、フォトモンタージュ法その他の視覚的な表現手法</u></p>

		<p>3 調査地域 対象事業実施区域及びその周辺区域</p> <p>4 調査地点 調査地域における景観の特性を踏まえて調査地域における主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等 調査地域における景観の特性を踏まえて調査地域における主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間及び時期</p>	<p>2 予測地域 調査地域のうち、調査地域における景観の特性を踏まえて主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p> <p>3 予測対象時期等 調査地域における景観の特性を踏まえて主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場</p>	<p>工事用資材等の搬出入</p>	<p>1 調査すべき情報 (1) 人と自然との触れ合いの活動の場の状況 (2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法 文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域 工事用資材等の搬出入</p>	<p>1 予測の基本的な手法 主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を把握した上で、事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域 調査地域のうち、人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p>

	<p>に使用する自動車の運行が予定される路線及びその周辺区域</p> <p>4 調査地点</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</p> <p>5 調査期間等</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</p>	<p>3 予測対象時期等</p> <p>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</p>
<p>地形改変及び施設の存在</p>	<p>1 調査すべき情報</p> <p>(1) 人と自然との触れ合いの活動の場の状況</p> <p>(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況</p> <p>2 調査の基本的な手法</p> <p>文献その他の資料及び現地調査による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析</p> <p>3 調査地域</p> <p>対象事業実施区域及び</p>	<p>1 予測の基本的な手法</p> <p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場について、分布又は利用環境の改変の程度を把握した上で、事例の引用又は解析</p> <p>2 予測地域</p> <p>調査地域のうち、人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域</p>

		<p>その周辺区域</p> <p>4 調査地点</p> <p><u>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点</u></p> <p>5 調査期間等</p> <p><u>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて調査地域における主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を予測し、及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間、時期及び時間帯</u></p>	<p>3 予測対象時期等</p> <p><u>人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて主要な人と自然との触れ合いの活動の場に係る環境影響を的確に把握できる時期</u></p>
産業廃棄物	<u>造成等の施工による一時的な影響</u>		<p>1 予測の基本的な手法</p> <p><u>産業廃棄物の種類ごとの排出量の把握</u></p> <p>2 予測地域</p> <p>対象事業実施区域</p> <p>3 予測対象時期等</p> <p>工事期間</p>
	<u>地形改変及び施設が存在</u>		<p>1 予測の基本的な手法</p> <p>(1) <u>産業廃棄物の種類ごとの排出量の把握</u></p> <p>(2) <u>適切な処理・処分の方策の把握</u></p> <p>2 予測地域</p> <p>対象事業実施区域</p>

			3 予測対象時期等 発電事業の終了時
残土	造成等の施工による一時的な影響		1 予測の基本的な手法 残土の排出量の把握 2 予測地域 対象事業実施区域 3 予測対象時期等 工事期間

備考

- 1 この表において「粉じん等」とは、粉じん、ばいじん及び自動車の運行又は建設機械の稼働に伴い発生する粒子状物質をいう。
- 2 この表において「土地の安定性」とは、太陽電池発電所を設置するために造成等が行われる傾斜地において、土地の形状が保持される性質をいう。
- 3 この表において「重要な地形及び地質」、「重要な種」及び「重要な種及び群落」とは、それぞれ学術上又は希少性の観点から重要なものをいう。
- 4 この表において「反射光」とは、太陽電池に入射した太陽光が反射し、住居等保全対象に到達する現象をいう。
- 5 この表において「注目すべき生息地」とは、学術上若しくは希少性の観点から重要である生息地又は地域の象徴であることその他の理由により注目すべき生息地をいう。
- 6 この表において「主要な眺望点」とは、不特定かつ多数の者が利用している景観資源を眺望する場所をいう。
- 7 この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望点から景観資源を眺望する場合の眺望される景観をいう。
- 8 この表において「主要な人と自然との触れ合いの活動の場」とは、不特定かつ多数の者が利用している人と自然との触れ合いの活動の場をいう。

(14)～(31) [略]